

住民こそ主人公・住民のための市政を

# 明日の相模湖

No. 901

2024年 4月号

発行：日本共産党相模湖支部

住所：相模原市緑区寸沢嵐794-3

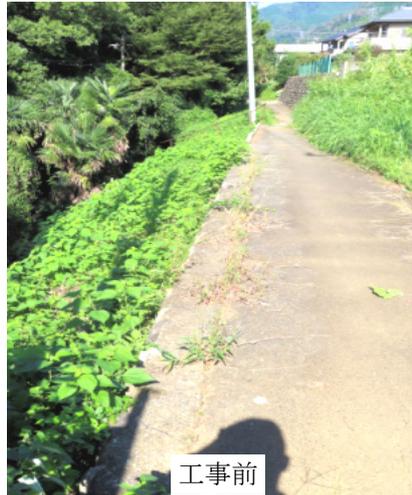
宮崎あき子気付

電話：042(685)1046

mail: jcpsagamiko@gmail.com



工事後



工事前

## 土木関係の要求が一部実現

昨年11月号の「明日の相模湖」でもお知らせしてきましたが、住民の方々から寄せられた土木関連の要求・要望について、昨年の6月に市の津久井土木事務所相模湖班に対応をお

願いし、その進捗状況を昨年10月30日に伺いました。

その中で与瀬760付近の崖面からの出水対策と崖上の歩道に手すりを設置してほしいという要望に対して、崖上の道路にはガードパイプなど転落防止対策の検討を行うという回答がありました。このほどパイプ

がきれいに設置されていることが確認されました。さらに下の道路

につながつてある階段のさび付いた手すりも一部新しくなっていました。少々時間がかかりましたが、市の対応に感謝です。



### 内閣府調査

「経済的なゆとりがない」が過去最高の63%

先月、内閣府は「社会意識に関する世論調査」の結果を発表しました。現在の社会で満足していない点を複数回答で尋ねたところ、63・2%が「経済的なゆとりと見通しがもてない」と答え、この質問を始めた2008年以降で最高。

満足していない点は、他に多い順に「子育てしにくい」が28・6%、「若者が社会での自立を目指しにく

い」28・2%、「女性が社会での活躍を目指しにくい」26・2%など続きました。

### 物価高 7割が懸念

日本の状況で悪い方向に向かっている分野（複数回答）は「物価」69・4%が最多で、前回調査した2022年から高止まりの状態です。次いで「国の財政」58・4%、「景気」58・1%など。

現在の世相の暗いイメージを表す表現（同）は「ゆとりがない」46・4%、「無責任の風潮が強い」38・8%などの順でした。



# 津久井の低山 ⑩ 雨乞山 あまごいやま

標高は四二九Mと低い山で、全体に杉や松の林と常緑樹が多いので、山頂の眺

雨乞山は串川の対岸に見える小高い山です。東側に三増峠、西は尾根、南は志田峠の間に位置しています。

めは良くありません。しかし串川に面した斜面は春の時期、サクラが一斉に咲いて桜山となります。

「稲生の桜山」として名所になっていて、道路からも良く見えます。ピンクの山肌がとても目立っていました。地元の人のお話によれば、昭和の中頃、何かの記念に植えたのが今はだいぶ古木になり、枯木も目立つようになって、高齢になった人達も手入れが大変とのことでしたが、政令市移行記念や中学生卒業記念など、新しく植えたサクラも育っていました。下草はきれいに刈られて眺めも良く、気持ちが良い所です。

三月中旬になると、桜山の麓にはカタクリの花が咲いて楽しませてくれます。桜山の尾根を登って約一時間で山頂に着き、西側の尾根根へ下れば広い畑地に出て、畑の中の道路を景色を楽しみながらぐるっと回って下れば、串川の川べりにもどれます。



急階段を降りる神輿



子供神輿



稚児行列

**与瀬神社例大祭 満開の桜も声援**  
 4月7日、与瀬神社の春季例大祭が行われました。神輿の練り歩きは疫病除けのために行なわれてきた歴史があり、地元では「与瀬の権現様」の祭りとして親しまれています。白装束を着た神輿の担ぎ手が神社前の50段の急な階段を豪快に下る場面は見ものです。他にも、可愛い子供神輿や稚児行列もこれまでどおり行われました。